

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300010
事業所名	グループホーム 設楽名倉の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	散歩や買物などに出かけ、近隣の人と話す機会が増えたことによりホームが認知され、地域の独居の高齢者が来訪し、利用者とお互いに楽しい時間を過ごすことがある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎に行われ、主な出席者は町民課長、民生委員、高齢者相談センター職員、家族などである。会議では、町内のボランティアの紹介を民生委員に依頼したり、町内の施設の状況を教えてもらったり、町の介護予防についてなど、多岐にわたった話し合いが行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	今年度2ユニット目を開設にあたって、頻繁に相談に出向き、協力関係が築かれている。市町村主催の研修には、ほとんど参加し、連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族の来訪時には、必ず声をかけ日頃の様子を伝えたり、来訪が少ない家族には電話で要望などを聞いている。利用者には嗜好アンケートをとり、要望が多い刺身や肉などを今後多く、食事に取り入れることを考えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価						○	○				